

4. ココセコムのサービス (ココセコム①)

2001年4月
サービス開始

お子さまから高齢者まで幅広い層にご利用が可能
携帯端末の場所をGPSで検索、要請に基づきセコムが駆けつけ

高齢者の方が、具合が悪くなった場合



通報ボタンを押す

セコムへ通報

セコムが通報を受信後、すぐにご家族へ連絡



現場急行を
要請されたら...

緊急対応員が、お客さまの元へ



緊急発進拠点は全国2,830カ所あり、最も近い位置にいる緊急対応員が駆けつけ

(参考) 認知症の方への所持方法のご紹介



洋服に縫い付ける



シニアカーにつける



杖につける



鍵と一緒に付ける



バッグに入れる



お守りとして

通報ボタンなし



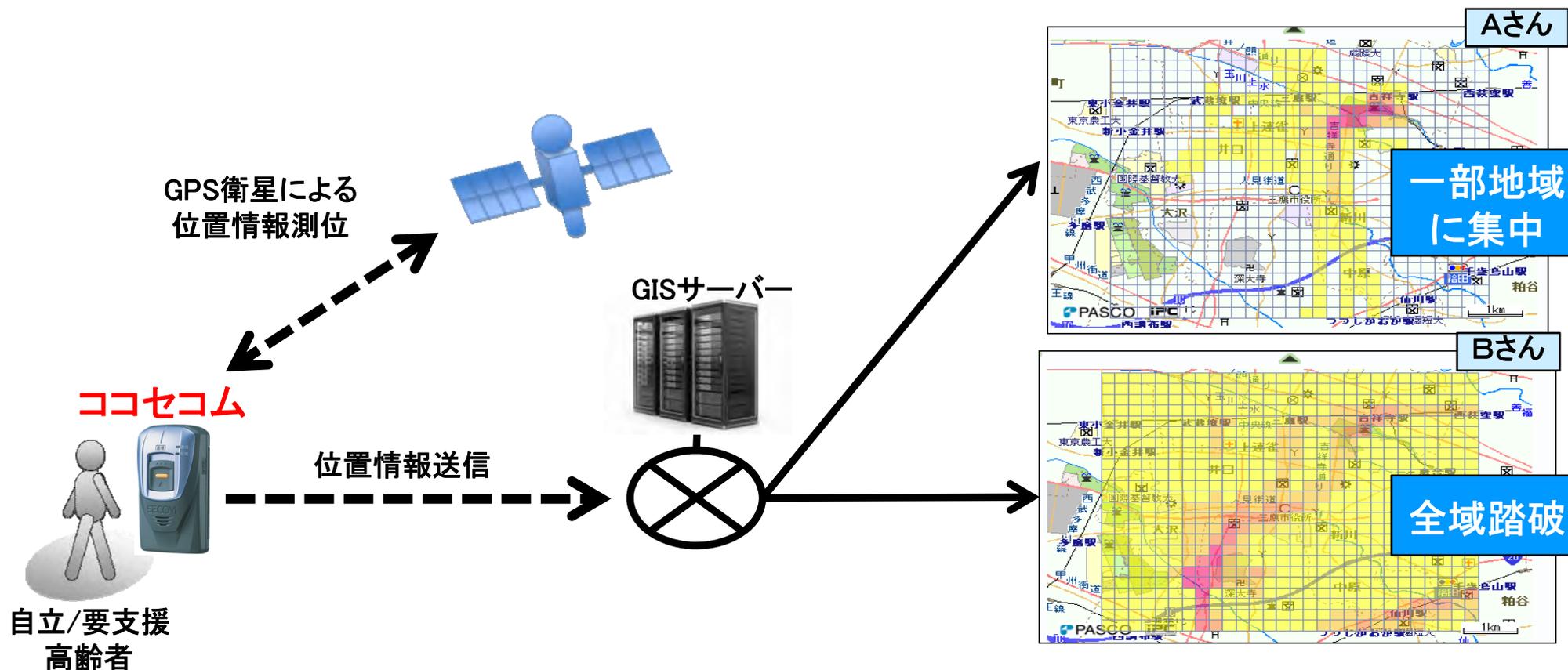
専用端末

4. ココセコム介護予防(事例) (ココセコム②)

介護予防を目的に、高齢者に外出してもらうための実証事業を三鷹市と実施

シニアeウォーク概要

期間:6ヶ月
対象:16名



行動履歴を地図上にマス目にして表示

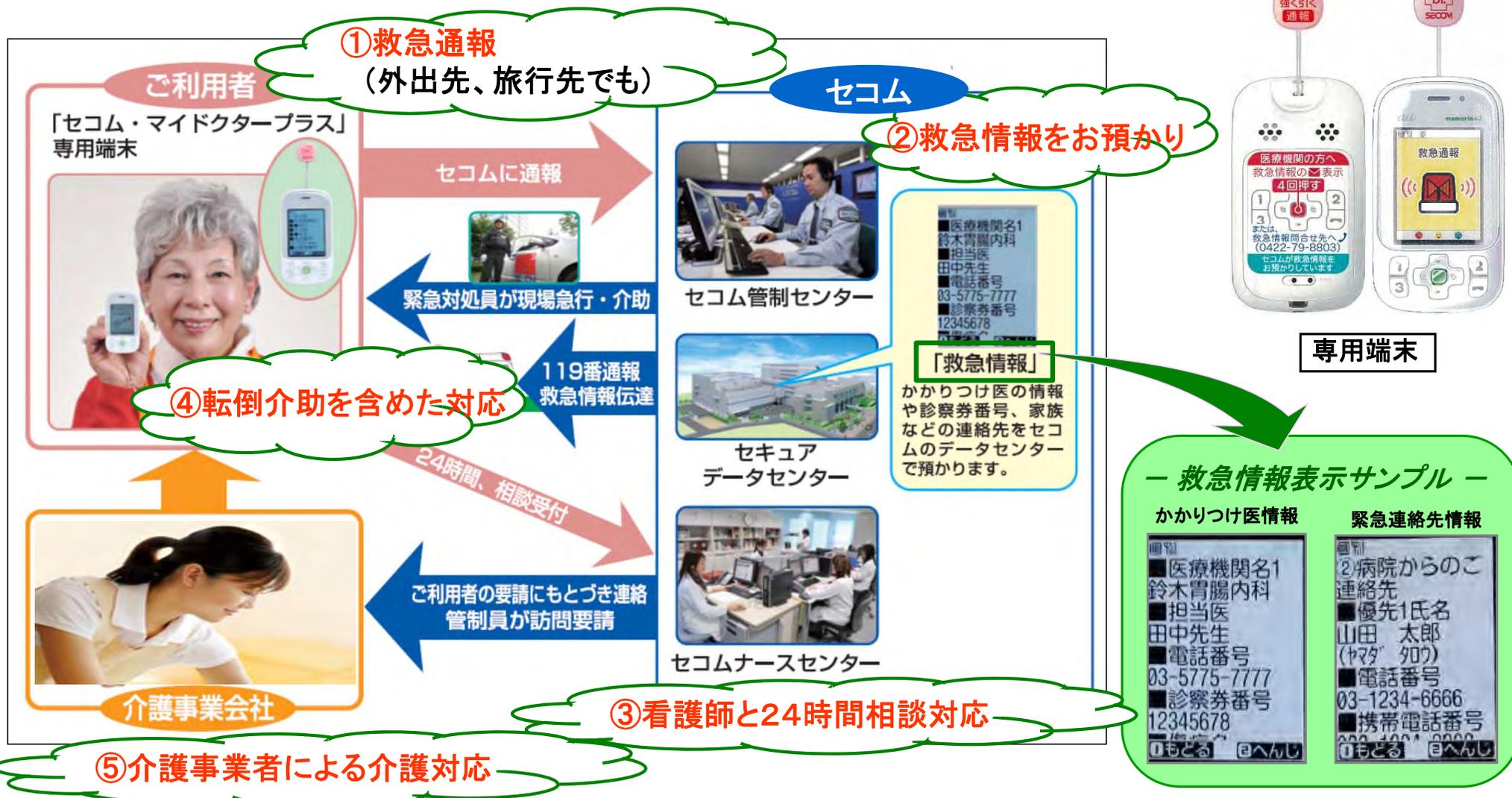
身体の活性化とともに、楽しみの1つに

5. マイドクタープラスのサービス(マイドクタープラス①)

2013年4月
サービス開始

高齢者向け救急通報サービス
～セコムが駆けつける。看護師と話せる。介護事業者へつなぐ。～

基本フローとサービスの特長



専用端末

— 救急情報表示サンプル —

かかりつけ医情報	緊急連絡先情報
医療機関名1 鈴木胃腸内科 担当医 田中先生 電話番号 03-5775-7777 診察券番号 12345678	②病院からのこ 連絡先 優先1氏名 山田 太郎 (ヤマダ 知ウ) 電話番号 03-1234-6666 携帯電話番号 090-1234-5678

5. マイドクタープラスの事例 (マイドクタープラス②)

自治体の場合

介護事業者の場合



課題

救急通報や健康相談等の
不要不急対応を民間へ委託したい

サ高住に必要となる、ご利用者の
安否確認ツール(通話端末)が必要

SECOM

提案



MDPを使用し
セコムで通報の一時受けを行う

MDPをケアコール端末として採用し
サ高住の付加価値としていただく

結果

救急通報、健康相談かを切り分け
必要に応じて119番通報等を実施

工事レス端末であり導入し易い

消防が苦慮していた
不要不急対応の解消

サ高住事業者とセコムが共に
入居者を見守る

その他、企業等とMDPを軸にした協業を検討中